

福祉作業所

問 体に障害をもつ人の働く場として、福祉作業所を設置する考えはないか。

答 山武郡内に福祉作業所を設置しているところもあるが、そこで働く人が相当数必要と聞いている。

横芝の場合は、該当する人が少ないため、運営は難しいと思う。福祉充実のため、今後検討していく。

アイデアを結集して

まちぐるみの
イベントづくり

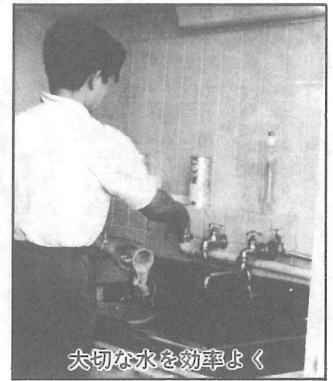
問 まちの活性化を図るため、新たなイベントを行う計画はないか。

答 恒例の町民体育祭が20回目という区切りを迎えるので、趣を変えた記念大会を行う予定でいる。また、初めての試みとして福祉大会も行うので、これらの行事をステップとして、住民総参加によるイベントづくりを考えていく。

消費税

問 廃止論を含めて大きく取り上げられている消費税は、収入の少ない人や年金生活者などに重税感を与えている。この実態をどう受け止めているか。

答 消費税は、所得税や住民税の大幅な減税



大切な水を効率よく

高齢化社会への対応等を主な理由として創設された。4月からの導入とあって、なじみもうすく、さまざまな問題が取り上げられている。見直し論も出ているので、国政の動きを充分見極めていきたい。

上水道の値上げ

問 豊かな地下水に恵まれているとはいっても、上水道への依存は年々高くなっている。各家庭の料金負担を少なくするため、県や町の負担金を増やすべきではないか。

答 当町に給水しているのは「山武郡市広域水道企業団」だが、63年度末の累積赤字は37億円にのぼっている。これは、供給を受ける水の代金の上昇、一方では、各家庭での水の



役場に設置されている
非核平和の看板

消費量が、採算ベースに乗らないことが大きな要因になっている。
企業団に加入している町は、それぞれの財政規模に応じて負担金を納めているが、今後の経営方針などについて、企業団議会において充分論議していただきたいと思っている。

保険証の取り扱い

問 国保税の滞納者には、保険証を交付しない……これでは所得の少ない人が医療を受けられなくなり、違法ではないか。まず保険証を交付し、その後に納税相談に応ずべきだ。町の考えは

答 国民健康保険は、被保険者の公平な税負担によって成り立っている。これは最低のルールである。納税が困難な人のために延納や減免の制度もある。とにかく納税相談に応じてほしいし、これからも家庭訪問による相談をも含めて、完全交付をめざしたい。